

LES FILMS DU KIOSQUE

カトリーヌ・ドヌーヴ ブノワ・マジメル セシル・ド・フランス ガブリエル・サラ

旅立ちの前、
僕は人生を整理する――

愛する人に伝える言葉

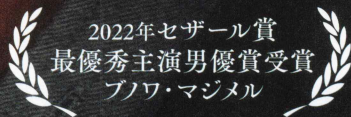
A film by Emmanuelle BERCOT

監督: エマニュエル・ベルコ
脚本: エマニュエル・ベルコ、マルシア・ロマノ
出演: カトリーヌ・ドヌーヴ、ブノワ・マジメル、セシル・ド・フランス、ガブリエル・サラ

2021年/フランス映画/フランス語・英語/122分
カラー/スコープサイズ/5.1chデジタル/原題: De son vivant
配給: ハーク/TMC/SDP



FESTIVAL DE CANNES
OUT OF COMPETITION
2021 OFFICIAL SELECTION



2022年セザール賞
最優秀主演男優賞受賞
ブノワ・マジメル

With Oscar MORGAN - Lou LAMPROS - Melissa GEORGE - Cécilia DUCOL
Scritta da Emmanuelle BERCOT e Marcia ROMANO - Produzione manager Karine PETITE - Five movies director Laurent VINDRY - Editing Julien LÉLOUP e Yann DEDET - Photographs Yves CAPE, AUGUSTE, Mathieu CAUDROY - Sound Pierre ANDRÉ - Screenplay Emmanuelle BERCOT - Stéphane THÉBAUT - Casting with BOB NEUFVAZ - Casting assistant Philippe LAMONT OTT, AUC - VFX supervisor Philippe Edgier AUBRY - Costume designer Judith de LUZE - Production designer Emmanuel DELÉIS - Script supervisor Isabel BIRIS ISA - Casting director Antoinette BOULAT - A production by LES FILMS DU KIOSQUE - In coproduction with STUDIOCANAL - FRANCE 2 CINÉMA - SCOPE PICTURES - With the participation of CANAL+ - CINÉ+ FRANCE 2 TELEVISIONS - In partnership with LA BANQUE POSTALE IMAGE 13 - CINÉMAGE 14 - INDEFILMS 8 - CINÉCAP 3 - CINEVENTURE 5 - COFFIMAGE 31 - SG IMAGE 2018 - CINÉAXE - With the support of CENTRE NATIONAL DU CINÉMA ET DE L'IMAGE ANIMÉE - RÉGION ÎLE-DE-FRANCE - PROCREP - French and international sales STUDIOCANAL - Traduzione e sottotitoli in italiano KRISMIS and Denis PINEAU-VALENCIENNE - A film by Emmanuelle BERCOT

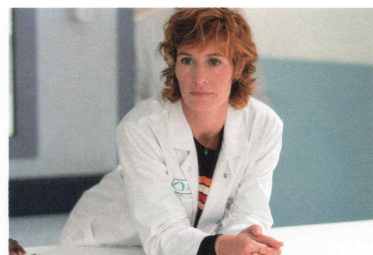


死を見つめること、
それは生を見出すこと
ありがとう、愛してる、
そして――



大女優カトリーヌ・ドヌーヴが演技派俳優ブワ・マジメルとの共演で魅せる感動作

バンジャマンは人生半ばで膵臓癌を宣告され、母のクリスタルとともに、業界でも名医として知られるドクター・エデを訪れる。二人は彼に一縷の希望を託すのだが、エデはステージ4の膵臓癌は治せないと率直に告げる。ショックのあまり自暴自棄になるバンジャマンにエデは、病状の緩和による生活の質を維持するために化学療法を提案し、「一緒に進みましょう」と励ます。ドクター・エデの助けを借りて、クリスタルは息子の最期を出来る限り気丈に見守ることを心に決めるのだが…。



フランスを代表する名女優カトリーヌ・ドヌーヴと、本作でセザール賞最優秀主演男優賞を受賞した演技派、ブワ・マジメルの共演によるこの物語は、癌を宣告された主人公とその母親が、限られた時間のなか「人生のデスクの整理」をしなが、穏やかに死と対峙していく過程を感動的に描く。監督は、『太陽のめざめ』（15）でカンヌ国際映画祭のオープニングを飾ったエマニュエル・ベルコ。主人公を献身的に看病し、愛情を寄せる看護婦役には、『モンテーニュ通りのカフェ』などで知られるセル・ド・フランス、そして主治医のドクター・エデ役には、実際に現役の癌専門医であるガブリエル・サラが扮しているのも話題だ。死を語ることで逆説的に生を描き、その尊さを見つめる感動作がついに公開となる。

これは、末期がんを悲しむ映画ではありません。

人生の終点までどう生きればいいのか？

そして、どう見送ってあげればいいのかを優しく教えてくれるのです。

がんサバイバーの私も希望と気づきを頂きました。

―― 笠井信輔（フリーアナウンサー）

愛する人に
伝える言葉

監督：エマニュエル・ベルコ 脚本：エマニュエル・ベルコ、マルシア・ロマノ
出演：カトリーヌ・ドヌーヴ、ブワ・マジメル、セル・ド・フランス、ガブリエル・サラ

2021年/フランス映画/フランス語・英語/122分/カラー/スコープサイズ/5.1chデジタル/原題：De son vivant
字幕翻訳：手束紀子 配給：ハーク/TMC/SDP © Photo 2021 : Laurent CHAMPOUSSIN - LES FILMS DU KIOSQUE

10月7日(金)より 全国ロードショー